

としょかん 図書館だより

葛塚小学校図書館
平成31年2月25日
NO. 7



こんねんと かしだし すこ 今年度の貸出もあと少し！

今年度図書館で本を借りられるのもあと少しです。図書館は“蔵書点検”を行うため、もうすぐお休みに入ります。

“蔵書点検”とは、行方不明の本はないか、修理する本はないか、ラベルは正しくついているかなどを、1冊ずつ調べることです。図書館にある約12,000冊の本を調べるため、1週間ほど図書館をしめきり、ボランティアさんに力を貸してもらって行います。1冊でも行方不明の本がなくなるように、ご協力をお願いします。

貸出最終日まではたくさん本を読んで、心に栄養をたっぷり取ってください。

こんご よてい <今後の予定>

3月6日(水)

かしだしさいしゅうび
貸出最終日



3月7日(木)・8日(金)

へんきゃくび
返却日

(借りていた本を、すべて返します。クラスで借りている本も返します)

3月11日(月)～15日(金)

ぞうしょてんけん としょかん はい
蔵書点検(図書館には入れません)

3月18日(月)～

としょかん よ
図書館で本を読むことができます。

かしだし
(貸出はできません)

おうちの方へ

一年間を通して「うちどく」へのご協力をありがとうございました。テレビを消して家族で本を囲む時間を味わうことで、読書をもっと好きになってほしいという思いから、今年度は年間を通してうちどくの日を設定いたしました。学校だけでなく、おうちでもテレビを消して本を自然と開く習慣がつくと、それは子どもの一生に繋がる豊かな宝になると思います。また、本は家族を繋ぐ共通のツールとして温かい時間を作ってくれるものだと思います。ご多用の中、お時間を作っていただき、本当にありがとうございました。

63名

せんせい 先生おすすめ この本読んでみませんか？

ていがくねん ひど 低学年の人へ 1年1組 おかむらのりこせんせい 岡村法子先生おすすめの本

『ろくべえ まってろよ』 灰谷健次郎・作 長新太・絵 文研出版 **ピンク/ろ**

「ろくべえ」は犬のなまえです。ある日、ろくべえは、ふかいあなにおちてしまいました。ろくべえをたすけようと、子どもたちはいろいろかんがえてためしてみます。さあ、子どもたちはろくべえをたすけることができるでしょうか？ ちえをだしあって、力をあわせてがんばる子どもたちがとてもすてきです。



ちゅうがくねん ひど 中学年の人へ 5年3組 さとう えみ せんせい 佐藤恵美先生おすすめの本

『かあちゃん 取 扱 説明書』 いたうみく・作 佐藤真紀子・絵 童心社 **913/い**

主人公は、4年生の田村哲哉くん（てっちゃん）です。てっちゃんはお父さんの言葉をきっかけに、お母さんの取扱説明書を考えることにしました。「勉強、勉強といわせない方法」「早くしなさいといわれない方法」など、いろいろお母さんのあつかい方を考えるてっちゃん。てっちゃんが考える「トリセツ」。みなさんも、一度、読んでみませんか。



こうがくねん ひど 高学年の人へ 2年2組 よしだ ゆり こせんせい 吉田百合子先生おすすめの本

『こんびら狗』 今井恭子・作 いぬんこ・画 くもん出版 **913/い**

弥生は神社でとてもかしい犬を拾い、ムツキという名前を付けて大事に育てます。ところが、弥生は病気になってしまい、弥生の病気が治るように、ムツキは「こんびら狗」として四国にある金毘羅神社まで旅に出されてしまいます。いっしょに旅をしていた人が亡くなったりと、いろいろな人と出会ったり、ムツキが命を落としそうになりますが、感動的な最後が待っています。ぜひ、読んでみてください。

